

令和6年度群馬県畜産試験場研究成果発表会 開催要領

1 趣旨

群馬県畜産試験場において、日頃、試験研究に取り組んでいる様々な課題について、生産者を始めとしたより多くの県民の方にその内容を理解いただくために、研究成果発表会を開催します。

2 開催日時

令和7年2月19日(水) 午前 10:00 ～ 午後 2:30 頃まで

3 開催場所

前橋合同庁舎 6階大会議室 (前橋市上細井町 2142-1)

4 開催日程

受付:午前 10:00 ～ 大会議室入口

開会:午前 10:30 ～ 10:40

発表:午前 10:40 ～ 午後 2:15

閉会:午後 2:30 頃

5 発表内容

別紙、発表プログラムのとおり。

(別紙)

【発表プログラム】

10:40～10:55	1 黒毛和種去勢牛への脂肪酸カルシウム製剤給与 肉牛係 鹿沼 由香里
課 題 要 旨	枝肉重量のゲノミック評価値が低い黒毛和種子牛を用いて脂肪酸カルシウム製剤の給与効果（発育、肉質及び経済性）を検討したので報告する。
10:55～11:10	2 レスベラトロール（Res）投与による受胎率改善の検討 繁殖技術係 下田 歩夢
課 題 要 旨	ウシでは子宮内膜のミトコンドリアの機能低下が不受胎の要因となっている可能性があり、ミトコンドリア機能を改善する作用があるレスベラトロール（ぶどうの果皮等に含まれる抗酸化物質）を子宮内投与することで、受胎率が向上するか検討したので報告する。
11:10～11:25	3 乳牛へのオオムギソフトグレインサイレージの給与（第二報） 酪農係 都丸友久
課 題 要 旨	オオムギソフトグレインサイレージ（SGS）又は圧片大麦給与が生産性に及ぼす影響について、ホルスタイン種泌乳前期牛を用いて比較検討したので報告する。
11:25～11:40	4 サイトカインを用いた乳房炎治療技術の開発 酪農係 平林晴飛
課 題 要 旨	組換え牛サイトカインTGrbGM-CSFの乳房内注入による乳房炎治療技術の実用化に向けて、注入濃度の検証及び基剤の検討を行ったので報告する。
＜ 昼 休 憩 ＞ 11:40 ～ 13:00	
13:00～13:15	5 WCS用トウモロコシ奨励品種決定調査 飼料環境係 今西 耕平
課 題 要 旨	WCS用トウモロコシの奨励品種を選定するため、栽培及び収量性、病虫害抵抗性等を調査し、群馬県における栽培に適する品種を選定したので報告する。
13:15～13:30	6 アルファルファサイレージの品質向上方法の検討 飼料環境係 今西耕平
課 題 要 旨	生育ステージの異なる時期に収穫したアルファルファを用いて、乳酸菌製剤の添加による高品質サイレージ調整方法について検討したので報告する。
13:30～13:45	7 畜産排水処理における生分解性の高い高分子凝集剤への変更の検討 飼料環境係 藤澤 望
課 題 要 旨	既存の高分子凝集剤を用いた畜産排水の脱水汚泥は、その堆肥化の難しさから堆肥品質の低下を招くことがある。そこで、生分解性の高い物質を原料とした高分子凝集剤へ変更することで、その効果と利用方法を検討したので報告する。
13:45～14:00	8 群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産（第2報） 養豚係 青木 圭
課 題 要 旨	養豚県群馬をより強くアピールできる豚肉生産を図るため、県産原料を主体とした飼料による肥育試験を実施し、発育、肉質及び経済性について検討したので報告する。
14:00～14:15	9 採卵鶏の育種改良の進展と高度に改良された採卵鶏の飼養管理 養鶏係 後藤 美津夫
課 題 要 旨	21世紀に入り25年目を迎えるが、その間における採卵鶏の育種改良の進展と、高度に改良された採卵鶏の遺伝的能力を発揮させるための飼養管理の概要について検討したので報告する。